

千葉大学病院にて胆道癌または膵癌の治療を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年8月12日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、胆道癌および膵癌における相同組換え修復欠損(注釈 1)に基づいた個別化治療の構築に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

(注釈 1: 相同組換え修復とは細胞が障害を受けた際にその障害を修復して細胞機能を維持する機構で、相同組換え修復欠損とは元々その修復機構が欠損した癌細胞を意味します)

本文書の対象となる方

2002年1月1日～2023年5月31日の間に胆道癌または膵癌に対する治療を受けられた方

1. 研究課題名

「胆道癌と膵癌における相同組換え修復欠損に基づいた個別化治療の構築」

2. 研究期間

2023年承認日～2026年12月31日

この研究は、倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

切除不能・再発胆道癌および膵癌に対しては化学療法が施行されます。一方で、相同組換え修復欠損は化学療法選択など個別化治療に有意義となる可能性があります。そこで本研究では、胆道癌または膵癌に対して手術を受けられた方の切除標本の解析や遺伝子パネル検査の結果の分析により、相同組換え修復欠損の特徴や化学療法の有効性との関連を解明し、患者さんごとの個別化治療を構築し予後を改善することを目的としております。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

胆道癌または膵癌の診断で 2002 年以降に当科にて根治手術を受けられ病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている方と、2019 年以降に胆道癌または膵癌の診断で遺伝子パネル検査を施行された方が対象です。患者さんの病理用パラフィンブロックを使用して各種免疫染色や蛋白発現を解析し、各患者様の臨床病理学的因子(年齢・性別・現病歴・既往歴・術前検査所見・遺伝子パネル検査の遺伝子変異など)や手術後治療・予後(再発の有無や再発後治療など)との関連を調べます。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：肝胆膵外科 教授 大塚 将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学医局で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

医師 小西 孝宜

043 (222) 7171 内線 6731

千葉大学病院にて乳がん放射線治療を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2022年10月1日

放射線科

放射線科では、乳がんの放射線治療による副作用に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年4月1日～2022年3月31日の間に当院の放射線科で乳がん放射線治療を受けられた方

1. 研究課題名

「乳がん放射線療法による有害事象発生と関連因子の解析」

2. 研究期間

2022年承認日～2023年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、放射線治療による副作用の発生を予防・減少させ、放射線治療を安全に受けていただくための方法を開発することを目的としています。

2020年4月1日～2022年3月31日の間に放射線治療を受けられた方を対象とし、診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、放射線治療の方法と副作用の程度の関連を調べます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えたデータを共同研究機関に提供し、そこで解析されることがあります。氏名等と研究IDの対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、放射線治療の方法と副作用の程度

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究代表機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究代表者：千葉大学医学部附属病院放射線科

教授 千葉太郎

【共同研究機関】

東京大学医学部附属病院放射線科：東京一郎

県立病院〇〇科：県立二郎

【研究協力機関】

市立病院〇〇科：市立三郎

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院〇〇研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報等の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院放射線科

医師 千葉太郎

043(222)7171 内線1234